

知らないと恥をかく！
ネイティブ英語の常識
175



小池直己
佐藤誠司

著者略歴

小池 直己(こいけ・なおみ)

立教大学卒業、広島大学大学院修了。カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) の客員研究員を経て、就実大学人文科学部実践英語学科教授・同大学大学院教授。NHK教育テレビ講師も務める。「放送英語の教育的効果に関する研究」で日本教育研究連合会より表彰を受ける。著書は、『3時間でマスター！ 新TOEICテストの英熟語』『3時間でマスター！ 新TOEICテストの英会話』『3時間でマスター！ 新TOEICテストの英文法』『3時間でマスター！ 新TOEICテストの英単語』（いずれもソフトバンク クリエイティブ刊）など280冊以上にのぼり、累計刊行部数は300万部に達する。

佐藤 誠司(さとう・せいし)

1981年東京大学英文科卒業、英数学館高校教諭、広島英数学館講師、研数学館、東進ハイスクールを経て、現在、佐藤教育研究所を主宰。主な著書に『英語力テスト1000』（PHP文庫・共著）など。

ソフトバンク新書 076

し知らないはじと恥をかく！ えいごネイティブ英語じょうしきの常識175

2008年5月26日 初版第1刷発行

著者：こいけ なおみ小池 直己 さとう せいし佐藤 誠司

発行者：新田光敏

発行所：ソフトバンク クリエイティブ株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂4-13-13
電話：03-5549-1201 (営業部)

装 幀：松 昭教

本文組版：クニメディア株式会社
印刷・製本：図書印刷株式会社

落丁本、乱丁本は小社営業部にてお取り替えいたします。定価はカバーに記載されております。本書の内容に関するご質問等は、小社学芸書籍編集部まで書面にてご連絡いただきますようお願いいたします。

知らないと恥をかく！
ネイティブ英語の常識175

江苏工业学院图书馆
藏书章



はじめに

本書は、社会人の皆さんが日常生活や仕事の中で英語を使う際に知っておきたい文法知識のうち、特に役立つものをQ & A形式でまとめたものです。

「あなたの英語は間違っている」という内容の本は、既に多数出版されています。その中には、たとえばこう書かれているかもしれません。

「『アフターサービス』は、英語ではafter serviceではなくafter-sales serviceと言う」

こうした知識はそれなりに大切ですが、断片的であり、汎用性がありません。本書で取り上げるのは、このタイプの知識ではありません。英語という言葉の本質を理解するための大切なルールや、自然な英語を使うために心得ておくべき考え方を、重点的に解説しています。

本書の説明の中には、「学校英語」のワクを超えた、あるいは学校で習った知識を否定するような内容も含まれます。「学校英語は役に立たない」とは決して言いませんが、学校で習った知識だけでは、自然な英語を使いこなせるようにはなりません。本書の主な目的は、学校で学んだ文法知識を補完し、読者の「英語のセンス」を高めることにあります。

なお、本書には「次の英語は正しいですか？」という質問を多数含みますが、「正しさ」の判定は実に微妙です。たとえば学校英語では〈be different from = ～とは異なる〉という「熟語」を学びますが、実際の英語ではfromの代わりにtoやthanも使われます。では、われわれ日本人が英語を話すとき、My opinion is different to yours. のように言ってもかまわないのか？と問われれば、その答えは人によって違うでしょう。

本書では、辞書・文法書などの記述に加えて、筆者の周囲の

ネイティブ・スピーカーたちの意見を幅広く取り入れ、できるだけ最大公約数的な説明を試みています。しかし、ネイティブ同士の間でも、意見が分かれるケースはよくあります。英語力に自信のある読者、あるいは英語を教えることを仕事としている読者の中には、「この本にはこう書かれているが、それは間違いではないか？」という疑問を持たれる方もおられるかもしれません。

しかし、本書が目指すものは、そうしたいわば「文法マニア」的な議論ではありません。「日本人が実際に英語を使うに当たって、頭に入れておけば役に立つ知識」を紹介することが、本書の眼目です。一般読者が英語と日本語の発想の違いに関する理解を深め、幅広い「英語感覚」を身につけるために、本書は必ず役立つものと確信しています。

なお、本書の出版に当たり、ソフトバンク クリエイティブ／学芸書籍編集部の斎藤順氏には大変お世話になりました。改めて感謝の意を表します。

2008年春 小池直己 佐藤誠司

目次

PART 1	文の組み立て方	5
PART 2	日本人が誤りやすい「語法」	45
PART 3	述部の形（時制・助動詞など）	79
PART 4	「英語らしい文」の作り方	109
PART 5	英文の意味に関する素朴な疑問	139
PART 6	名詞の単複と冠詞の使い方	171
PART 7	「紛らわしい表現」の使い分け	197

PART 1

文の組み立て方



喫茶店でコーヒーを注文するとき、何と言いますか？
そう、Coffee, please. ですね。しかし、日本人の中には、
I am coffee. というトンデモ英語を口にして、失笑を買う
人もいます。この章では、英文の「骨組み」を作る段階で
日本人が特に間違いやすいポイントを、重点的に取り上げ
ます。

001

「私の夢は社長になることです」の英訳として、次の文は正しいですか？

(a) My dream is a president.

答と解説

いいえ。次のように訂正する必要があります。

(b) My dream is to become a president.

(私の夢は社長になることです)

では、(a) はなぜ間違いなのでしょう？

This is a pen. の形 (第2文型) を思い出してみてください。
 〈A is B〉型の文でBが名詞の場合、isは「= (イコール)」の記号を表すと考えてかまいません。一方、He is kind. (彼は親切だ) のように、Bが形容詞の場合もあります。

kindの名詞形はkindness (親切) ですが、He is kindness. とは言えません。「彼」(人間) と「親切」(抽象概念) とは、イコールの記号で結べないからです。

同じことは、(a) についても言えます。My dreamは抽象概念であり、a presidentは(社長という)人物を指します。したがって、〈A is B〉の形で両者を結びつけることはできないのです。Bを「社長になること」ときちんと表現すればAと対等の抽象概念になるので、(b) は正しい文です。

同様に、「私の仕事は技師です」をMy job is an engineer. と直訳してはいけません。正しくは、I'm an engineer.です。

POINT

〈A is B (名詞)〉のAとBは、「対等の要素」にする。

002

「ここはどこですか」の英訳として、次の二つの文はどちらも正しいですか？

(a) *Where is here?*

(b) *Where am I?*

答と解説

(a) は誤り。正しいのは (b) だけです。

Where am I? または *Where are we?* という形で、「私（たち）はどこにいるのか」という意味の文を作ります。

では、(a) だとなぜ間違いなのでしょう？それは、返答の文を考えればわかります。(b) の質問に対しては、たとえば次のような返答が考えられます。

(c) *You are at Ogikubo Station.*

（あなたは荻窪駅にいます）

下線部を尋ねる疑問文が、*Where am I?* です。一方 (a) の質問は、次のような返答を想定しています。

(d) *Here is Ogikubo Station.* (×)

（ここは荻窪駅です）

この返答は、文法的に成り立ちません。*here* は副詞であり、主語には使えないからです。〈*Here is* ～〉は「ここに～がある」という意味で、次のように使います。

(e) *Here is my dictionary.*

（ここに私の辞書があります）

これに対する疑問文は *What is here?*（ここに何がありますか）であり、*Where is here?* ではありません。

POINT

疑問文の正しい形は、返答の文から判断できる。

003

「タイの首都はどこですか」の英訳として、次のどちらが適切ですか？

(a) *Where is the capital of Thailand?*

(b) *What is the capital of Thailand?*

答と解説

(a) は誤り。正しいのは (b) です。

前問と同様に、返答の文を考えてみましょう。

(c) The capital of Thailand is Bangkok.

(タイの首都はバンコクです)

この下線部を尋ねる疑問文を作ればよいわけです。
Bangkokは名詞なので、what(疑問代名詞)で置き換えます。
where(疑問副詞)は使えません。

ここで、次のような疑問を持つ人もいるかもしれません。

「(a) に対する返答の文は、たとえばThe capital of Thailand is in Bangkok. となる。これは、正しい文ではないのか？」

しかし、capital(首都)は国家組織上の抽象概念ですから、「バンコクの中にある」のように場所として表現することはできません。次の文と比較してみましょう。

(d) *Where is the Diet Building?*

(国会議事堂はどこにありますか)

この場合の返答はたとえばIt's *in Kasumigaseki*. なので、Whereを使うのが正しいことがわかります。

POINT

疑問詞の形は、品詞の種類によって決まる。

004

次の文は、前問の理屈と矛盾しませんか？

(a) **Where are you from?** (どちらのご出身ですか)

この答えはたとえばI'm from Kansai. だから、この下線部を尋ねる疑問文はWhat are you from? ではないでしょうか？

答と解説

理屈はそのとおりですが、この文ではWhereが正しく、Whatは誤りです。

疑問副詞のwhereには「どこで」「どこへ」などの意味はありますが、「どこから」という意味はありません。では、「どこから」の意味はどんな英語で表せばよいのでしょうか？これをfrom whatと表現すると、「何から」の意味になってしまいます。結局、「どこから」はfrom whereで表すのが一番便利であることになります。

(b) *Where are you going (to)?*

(どちらへお出かけですか)

この例では、慣用的に文尾にtoをつける場合もあります。さらに短縮して、*Where to?* という言い方もできます。これらのWhereは、疑問代名詞です。次のwhenも同様です。

(c) *Since when have you been working here?*

(いつからここで働いていますか)

また、whereは「～する場所」の意味でも使われます。

(d) *This is where I live.* (where = the place where)

(ここが私の住んでいる場所です)

POINT

疑問副詞を代名詞的に使う場合がある。

005

「どの店でカメラを買えばいいだろう」の英訳として、次の文は正しいですか？

(a) Which shop should I buy a camera?

答と解説

いいえ。次のように訂正する必要があります。

(b) Which shop should I buy a camera from?

これが最も普通の言い方ですが、次の形も可能です。

(c) From which shop should I buy a camera?

(a) が間違っている理由は、返答の文を考えればわかります。

(d) You should buy a camera from Sakuraya.

(君はサクラヤでカメラを買うのがいい)

この文のSakurayaを「どの店 (which shop)」という言葉に置き換えて疑問文を作ると、fromが残ります。このとき、from which shop (どの店で) をひとまとまりの疑問詞と考えれば、(c) の疑問文ができます。しかし、「前置詞 + 疑問詞」を文の最初に置く言い方は堅苦しく響くため、口語では前置詞を最後に置いて、(b) のように言うことが多いのです。次の例でも、(e) の方が (e)' よりも普通の言い方です。

(e) Who was he killed by? (○)

(e)' By whom was he killed? (△)

(彼は誰に殺されたのか)

なお、(e) ではWhomよりもWhoを使うのが普通です。今日では、whomは疑問詞としても関係詞としてもあまり使われません。

POINT

前置詞と疑問代名詞の組み合わせに注意。

006

「この部屋の鍵がどこにあるか知っていますか」の英訳として、次の文は正しいですか？

(a) Do you know where is the key of this room?

答と解説

いいえ。次のように訂正する必要があります。

(b) Do you know *where the key of this room is*?

疑問文は、〈V + S〉の語順で表すのが原則です。しかし、「ある疑問文が別の文の一部として働く」ときは、〈S + V〉の語順に戻ります。これを「間接疑問」と言います。

(c) I don't know *when he will come*.

(彼がいつ来るのか私は知りません)

(d) Do you know *where she lives*?

(彼女がどこに住んでいるのか知っていますか)

「この部屋の鍵はどこにありますか」の英訳は *Where is the key of this room?* であり、下線部は〈V + S〉の語順になっています。これを間接疑問にすると、(b) のように〈S + V〉の順に戻ります。

なお、次の例も間接疑問の一種です。

(e) I have no idea *why he quit his job*.

(彼がなぜ仕事をやめたのか全く知りません)

(f) We were at a loss *what we should do next*.

(次に何をすべきかと私たちは途方に暮れた)

POINT

疑問文が別の文の一部になると、〈S + V〉の語順に戻る。

007

「タイの首都はどこか知っていますか」の英訳として、次の二つの文のうちどちらが適切ですか？

- (a) Do you know *what is* the capital of Thailand?
 (b) Do you know *what* the capital of Thailand *is*?

答と解説

(b) です。

まず、次の疑問文を考えてみましょう。

(c) *What is* the capital of Thailand?

返答の文は、次の二つが可能です（より普通なのは (d)）。

(d) It's Bangkok. / (e) Bangkok is.

(c) で What が主語だと考えれば (e) の返答が、逆に the capital of Thailand が主語だと考えれば (d) の返答になります。しかし、(c) の主語は後者と考えるのが合理的なのです。

一般に〈S is C〉型の文では、S よりも C の方が広い意味内容を持っています。だから、Tom is a student. とは言えても、A student is Tom. とは言えません。(c) の場合、明らかに What の方が広い意味を持っているので、〈What = C〉と考えられます。What's your name? に対する返答が My name is ○○. であることから、What が C であることが理解できるでしょう。

したがって (c) の主語は the capital of Thailand であり、間接疑問の正しい形は (b) となります。返答の文は (d) の方が普通ですが、(e) が可能なのは、中心的な情報である Bangkok を最初に言おうとする心理の現われと解釈できます。

POINT

〈What is ○○?〉型の文では、○○の方が主語。

008

「彼はいつ来ると思いますか」の英訳として、次の三つの文のうちどれが適切ですか？

- (a) Do you think *when he will come*?
- (b) *When* do you think *will he come*?
- (c) *When* do you think *he will come*?

答と解説

(c) です。

(a) が誤りであることは、返答の文を考えればわかります。この質問の中心は、「いつ」という点にあり、Yes/Noで答えることはできません。したがって、Whenを文頭に置く形が選ばれます。

ところでこの文は、「疑問文の中にdo you thinkがはさまこまれたもの」と説明されることが時にあります。その説明だと「When ▲ will he come? の▲の部分にdo you thinkをはさみこむ」ことになり、(b) が正しい理屈になります。しかし、実際に正しい文は(c) です。

(c) の成り立ちは、次のように考えるとよいでしょう。

Do you think [when he will come] ?

まず、when he will comeの部分を間接疑問とみなします(語順はS+V)。この形から、「質問の焦点であるwhenが文頭に移動した」と考えれば、(c) の文が完成します。

POINT

〈疑問詞+do you think〉に続く形は「S+V」の語順。

009

「セーターを着なさい」の英訳として、次の二つの文はどちらも正しいですか？

- (a) *Wear your sweater.*
(b) *Put on your sweater.*

答と解説

(a) は誤り。正しいのは (b) だけです。

英語の動詞は、「動作動詞 (～する)」と「状態動詞 (～である)」とに大別できます。go, eat, sing など多くの動詞は動作動詞であり、have, live, know など状態動詞です。

状態動詞には、次のような特徴があります。

① 状態動詞は進行形にしない。

② 状態動詞は命令文にしない。

(b) の put on (～を身につける) は動作動詞ですが、(a) の wear (～を身につけている) は状態動詞です。したがって、②のルールにより、(a) の命令文は誤りとなります。

ただし、①のルールは絶対的なものではありません。一時的な状態などを表す場合は、動作動詞も進行形にすることがあります。

(c) *She was wearing a blue dress.*

(彼女は青いドレスを着ていた)

この文は可能ですが、wear はあくまで状態動詞なので、「彼女は青いドレスを着つつあった」の意味にはなりません。

POINT

状態動詞は、普通進行形や命令文にはしない。



「何かにおいませんか」の英訳として、次の二つの文はどちらも正しいですか？

- (a) Is something smelling?
(b) Can you smell something?

答と解説

(a) は誤り。正しいのは (b) だけです。

五感を表す動詞には、次のような二つの使い方があります。

(c) Something *smells* good.

(何かいいにおいがする) 〈第2文型 (SVC)〉

(d) I can *smell* something burning.

(何か燃えているにおいがする) 〈第3文型 (SVO)〉

(b) は、(d) と同じ用法なので正しい文です。(a) のように *smell* を第1文型 (SV) で使うことはできません。さらに、(c) (d) の *smell* は状態動詞なので、進行形にできません。その点で (a) は誤りです。ただし、*smell* には「～のにおいをかぐ」の意味もあり、このときは進行形にできます。

(e) The baby *is smelling* the soap.

(赤ん坊は石けんのにおいをかいでいる)

なお、*taste*, *feel* などとも *smell* と同様に使います。

(f) This cloth *feels* soft.

(この布は手触りが柔らかい) 〈第2文型〉

(g) The doctor *felt* my pulse.

(医者 は 私の脈を (触って) みた) 〈第3文型〉

POINT

smell・taste・feelは、第2・第3文型で使う。